



巣立ち

加東市立社学園中学校
生徒指導通信
発行者

新たな出会い 新たな発見

最近、朝晩すっかり冷え込むようになり「秋」の訪れを感じます。みなさんは、「秋」は好きですか？過酷な暑さの夏を乗り越え、また厳しい寒さの冬までの間の季節で、とても清々しい気持ちの良い季節です。そのためこの「秋」は、心と体に少し余裕が生まれる分、他のことに意識を向けられるので「新たな発見・新たな出会い」の季節とも言われています。みなさんは今年の秋に、新しい発見はありましたか？

7年生は、21日にわくわくオーケストラ教室へ行き、芸術の秋を堪能してきました。午前中は「キッザニア甲子園」へ行き、職業体験を行いました。日頃からよく目にする食べ物や商品のお店、普段は体験できない鑑定や製薬会社、声優などの仕事を行いました。活き活きとした表情で一生懸命働く姿がたくさんありました。また、午後は芸術文化センターにて生のオーケストラ演奏を鑑賞しました。目と耳だけでなく、心の鼓動に響くような迫力のある演奏に触れることができました。また、最後に会場全体と一緒に歌う曲である嵐の「ふるさと」を、福祉学習の一環で学んだ「手話をしながら、歌い、皆で作り上げる演奏に、華を添えることができました。



★7年生 校外学習 出発式★



★7年生 ROHTO 製薬★

★7年生 警視庁★



★8年生 シネマコーヒー★



★8年生 市役所生活環境課★

また、8年生は6～10日に、「トライやる・ウィーク」を実施しました。地域の仕事場に実際に飛び込み、本物の仕事を体験させて頂きました。体験前は、「自分に仕事ができるのだろうか」や「店員さんとしての接客はできないかも…」と、期待よりも不安の気持ちが大きい生徒がほとんどでした。しかし、いざ始まってみると「毎日楽しい！」「早く自分も本当に働きたい！」「仕事って楽しい！」などの声がたくさんありました。また同時に、「楽しいけど大変だった」「普段とは違うことを考えて疲れた」など仕事の大変さも学ぶことができました。生徒の感想の中には、「自分も仕事で役立つことができるんだ、働くことって意外と楽しいんだ！」というものがありました。まさに、「新たな自分を発見」した瞬間だったのではないのでしょうか。 今回、7・8年生は行事を通して初めてのことを体験し、それぞれに「新たな発見」がありました。秋はまだもう少し続きます。みなさんに素晴らしい「新たな出会い」「新たな発見」が訪れることを祈っています。

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」 感想

○事業所のみなさま

- ・ひとつひとつの仕事を丁寧にされていたので、手作業に向いておられるかもしれませんね。将来仕事を考える時、ここでの経験が少しでも役に立てば嬉しいです。
- ・一生懸命頑張ってくれたので大変疲れたと思いますが、学校とは違う経験ができたことと思います。〇〇さんの責任感と臨機応変に判断して対応できる機転は素晴らしいと思います。この経験を大切に、将来にも生かして下さい。



○OPTA 推進委員・保護者のみなさま

- ・作業について、掃除に始まって準備・作成・後片付け、全ての行程が大切であること、それを抜いては成り立たない事が分かった様で、これからの行動に変容があるのではないかと思います。
- ・指導ボランティアさんの生き生きと楽しそうにされている姿ややりがいを感じる作業に、本当に毎日楽しくて仕方ない様子でした。働くことは「苦労があってもやりがいのある楽しいこと」と感じたようです。

○生徒のみなさん

- ・活動をするまでは「働くことは大変だけど、好きな仕事ならそこまでは大変じゃない」と思っていたけど、全然そんなことはありませんでした。好きなことの中にも得意な作業と苦手な作業があったり、早起きして準備をしたり、急な注文が入るとその分たくさん作らないといけないので、とても忙しく大変で、毎日帰ったらすぐに寝てしまいました。
- ・1日目は覚えることが多く事業所の方に迷惑をかけてしまうこともありましたが、2日目からは教えてもらったことやできなかったことを自分なりにメモにまとめて確認しながら取り組んだことで、少しずつミスを減らすことができました。最終日には、次に何をするのか自分で考えて動くことができました。5日間ですごく成長できたかなと思いました。事業所の方にはほんとにほんとに感謝しかないです！



社学園中の活躍と課題

夏休み明けの全校集会では、部活動や学習面での夏休み中の表彰が行われました。文武両面で表彰された人数は延べ100名をこえており、様々な場所で多くの社中生が活躍していたことが分かります。改めて、みなさんの日ごろの努力が成果としてしっかり現れるということを感じました。一方で、ここ最近、普段の学校生活はどうでしょうか。2学期も半分が過ぎ、クラスメイトとも行事を乗り越えて団結を強める一方で、その連帯感や慣れから、自分の考えを優先して友だちにぶつけてしまったり、トラブルや中だるみにつながってしまったりしているように感じます。主な点は、以下の通りです。

- ◆**だらしない服装**（名札がない、ブレザーのボタンを外す、体操服で生活している、靴のかかとをふむ）
- ◆**学校設備を壊す・傷つける**（あちこちの傷や、「うっかり」で壊れたが気になります）
- ◆**カバンにじゃらじゃらキーホルダーをつけている**（目印としてのお守り程度のものを1つだけ）
- ◆**時間を守る意識**（朝の遅刻、授業の開始・部活動の開始・下校時間の厳守）
- ◆**自転車や学校外でのマナー・モラル**（地域の方からの声がたくさん寄せられています）

こうした課題を改善し、すべきことに全力を注いでいきましょう！

